

令和5年度 マリア学院 市原マリア・インマクラダ幼稚園自己評価結果

1 本園の教育目標

神さまと周りの人たちから愛されていることに気づく(宗教教育)
幼稚園生活の体験を通して 自分自身が好きになる(モンテッソーリ教育)
集団生活の出会いと関わりを通して 神様と周りの人々を大切にする(平和教育)

2 本年度 重点的に取り組む目標・計画

- ★神さまの愛が土台となるキリスト教保育を行う
- ★子どもの生活を大切するモンテッソーリ教育を行う
- ★子どもたちの心身共に成長できる人的環境、物的環境を用意する

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
カトリックの幼稚園として	「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。」 コリントの信徒への手紙二4章18節 目に見えないものを大切にする心を育てる
幼稚園教諭として	子どもの育ちの道筋を良く知り、声にならない子どもの声と敏感期を観察する
モンテッソーリ教育	子どもたちの環境を整える。保育者の子どもを見る視点を大切にする。
宗教教育	毎月の歌がありそこで讃美歌、ゴスペルなど手話や踊りを使って楽しくうたったり神さまのお話を聞く時間をもつ
平和教育	縦割りが学びの場所になるよう、下の子は上の子に憧れ、上の子は下の子を敬愛する姿こそ平和教育の原点であることを忘れない。
安全管理	火災、地震、自然災害などを想定し子どもたちの誘導や安全確保の話合いをする機会を設けては、定期的に防災訓練を実施した。
保健管理	子どもたちの心と身体の成長ができる身体づくりの場を考える。
子育て支援	未就園児クラス様々なクラスの開催と園庭開放や楽しい行事を行った。カウンセラー等による子育て相談等を実施した。
学校・地域との連携	辰巳台西小学校の園庭で遊ばせていただいたり、学校案内や一年生との交流会もしていただき年長児にとっては良い時間になった。

4 園評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

園の中で職員同士の話し合いをし共通理解を深めるような話し合いの時間を持分かち合う時間をもつ。それらによってよりよい保育の工夫の話ができてきたように思える。これからもさらにより良い保育ができるように積み重ねていくことが大切である。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
教育目標	子ども一人一人の成長と個性を尊重する言葉かけをする。
子育て支援	子育て支援ではなく子が育つことで子育て支援としていろいろなイベントや開かれた幼稚園を目指していく。
環境	掃除を丁寧に行い環境を整える
モンテッソーリ教育	子どもたちの興味関心に私たちが気づける保育者になる。

6 学校関係者の評価

保育内容評価について、学校関係者10名の意見を集約
一年間役員を通して子どもたちの成長を見守れたのがよかったです。
子どもがこの三年間でとても成長できたのが実感できました。
ドキュメンテーションが発信されて子どもの様子がよくわかった。

7 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる